

力と心をおわせて、のびのび笑顔いっぱい

～学年別スポーツフェスティバルを開催～

10月12日から19日の期間に、学年別でスポーツフェスティバルを開催しました。のびのびと競技をする姿、力を合わせて取り組む姿、熱い声援、そして多くの笑顔が見られました。また、保護者の皆さんにも観戦・応援していただき、とても張り切っていたように感じました。

そして、短い準備期間でしたが、パフォーマンス等のアイデアを出し合ったり練習したりすることを通して、お互いの良さを発見し、絆が深まったことと思います。

3年生



◎ フィナーレでは、学年全員が心ひとつに見事な演技を繰り広げました。練習期間が数日にもかかわらずみんなの息がぴったりと合っていて、最後には学年スローガン「心友」を人文字で表現しました。

◎ 全員リレーでは、設定されたさまざまな距離を全力で走り抜き、学級のみんながバトンをつないでいきました。

◎ 閉会式での実行委員挨拶にあったように、練習の中で仲間の「キラッと」がたくさん見つけられたようです。

◎ 優勝チームと先生チームとの対決もありましたが、若い力で圧倒していました。

◎ クラスアピールは、工夫を凝らした内容ばかりで、のびのびと演技して楽しんでいる様子が印象的でした。豊かな表現力や各学級の良さを感じました。

2年生



1年生



◎ 「笑顔芽生えて、心つながるスポーツフェスティバル」をスローガンとして、たくさんの競技に勝ち負け関係なく楽しんで参加していました。キャタピラレースでは、壊れたキャタピラ修理に他のチームの人が助けにいく等、ほのぼのとした様子も見られました。

◎ 大縄跳びは、5月に希望が丘でやったときより、みんなの息があってきて、絆の深まりや心身の成長を感じました。

令和4年度全国学力・学習状況調査(4/19、3年生対象)の分析より

◎良い点 ▼改善すべき点

**【国語】本校平均72%
(全国平均は、69.0%)**

- ◎語句の理解や言葉の特徴・使い方についての設問を中心に、概ね正答率が高い。
- ▼文章から必要な情報を取り出し、自分の考えが伝わるよう、根拠を明確にして書くことに課題が見られる。**今後、この課題をふまえて、書く指導に力を入れます。**

**【数学】本校平均57%
(全国平均は、51.4%)**

- ◎「数と式」「関数」を中心に一問一答式の問題は正答率が比較的高い。
- ▼ヒストグラム等データの傾向を的確に捉えたり、判断の理由を数学的に説明したりすることに課題がある。**今後、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する指導に力を入れます。**

**【理科】本校平均52%
(全国平均は、49.3%)**

- ◎選択式問題を中心に、比較的正答率が高い。
- ▼「エネルギー」「地球」に関する問題に弱さがある。
- ▼問題点を分析し解釈して、考察を記述することに課題がある。**今後、仮説を立てて実験を行い、結果の分析やその解釈ができるよう、思考の過程が残る授業を進めます。**

【学習や生活に関して良好な項目(内容)～質問紙調査より～】

- ◎比較的落ち着いた生活習慣が形成されており、恵まれた家庭環境の生徒が多い。
朝食を毎日食べている生徒が多い。ほぼ同じ時刻に寝て起きるというリズムができている生徒が多い。また、家庭の蔵書数が比較的多く、読書が好きな生徒も多い。新聞を読む生徒も比較的多い。
- ◎学習時間は比較的長い。
1日当たりの勉強時間(学習塾での勉強を含む)は、平日も週末も比較的長い。スマホ等でのSNSや動画視聴時間は、全国比ではやや少なめである。

【学習や生活に関して気になる項目(内容)～質問紙調査より～】

- ▼ここ数年で見ると改善傾向であるが、自己肯定感が比較的低い。
「自分に良いところがあると思う生徒」(肯定的回答 77.8%、全国比 Δ 0.7)や「将来の夢や目標をもっている生徒」(肯定的回答 59.6%、全国比 Δ 7.7)が比較的小さい。
こうした課題をふまえ、学級での班や係活動等のあり方を見直し、一人ひとりの役割と出番のある活動を通して、個性やがんばりを認め合える集団づくりに取り組みます。
- ▼他者や社会に貢献しようとする気持ちが弱い。
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある生徒」(肯定的回答 33.4%、 Δ 7.3)が少なく、「人が困っているときは進んで助けている生徒」(肯定的回答 83.3%、 Δ 5.1)が比較的小さい。
そのため、総合的な学習の時間における「地域学習」の取り組みを充実させ、地域社会の一員としてのあり方を考え、実践できるように努めます。また、社会や人との関わりにおいて自分のあり方を見つめ直す機会として、道徳教育の充実改善に努めます。
- ▼他者とかかわることにやや消極的で、その成功体験が少ない。
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒」(肯定的回答 73.1%、 Δ 3.8)が比較的小さい。
そのため、授業で他者との意見交流により学び合う良さや楽しさを実感したり、行事等において協力して物事を成し遂げるすばらしさを実感したりできるようにします。

保護者の皆様へ

学校としての主な項目の分析と今後の方策をお示しました。ご家庭においても、お子様の社会的自立に向けて、確かな学力に加えて、個性をより良く伸ばして自信をもって歩んでいけるよう、多様な観点からお子様を見守り認め励ましていただきますようお願いいたします。